

TortoiseSVN の使い方 (設置編)

TortoiseSVN (以下、SVN) は、バージョン管理システムの一つです。

バージョン管理システムとは、ファイルの追加や削除、編集といったファイルの更新履歴を保管することで、過去の状態や変更内容を確認したり、変更前の状態を復元することを容易にするシステムです。

SVN 設置方法



① リポジトリの作成

リポジトリとは SVN を設置したディレクトリのことです。

② 作業ディレクトリの作成

実際に作業するディレクトリを新規作成します。

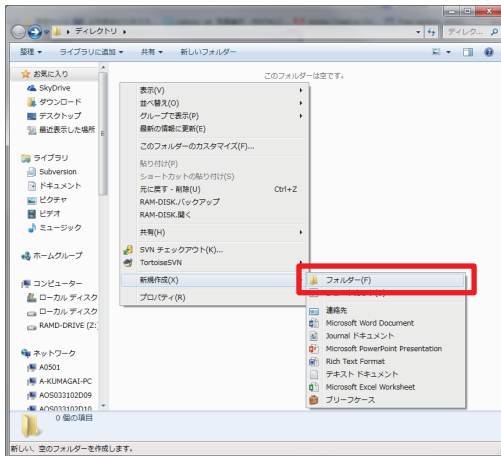
③ 作業ディレクトリとリポジトリを紐付け

作業ディレクトリの更新履歴をリポジトリに残すための作業です。

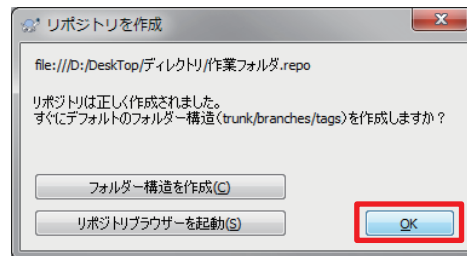
① リポジトリの作成

1. まずは、リポジトリとなるディレクトリを設置します。
ここではディレクトリ名を [作業フォルダ.repo] と設定します。

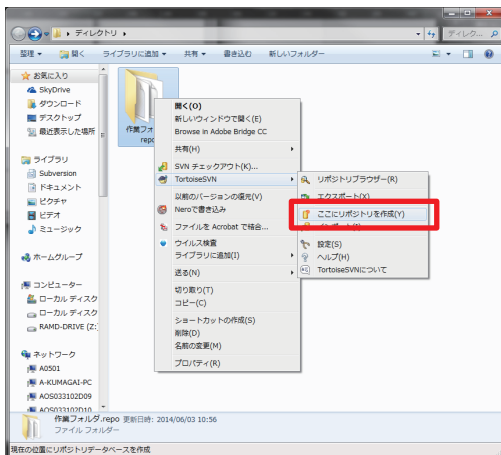
※ディレクトリ名は任意ですが、IT 戦略室では [OO.repo] と設定します。



3. 「リポジトリを作成」というポップアップが表示るので [OK] ボタンを押します。

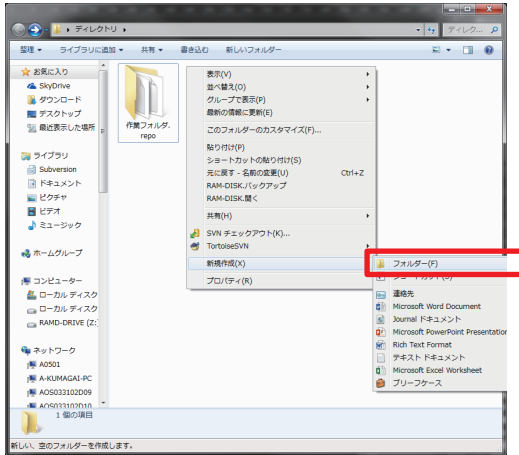


2. [作業フォルダ.repo] を右クリック⇒「TortoiseSVN」⇒「ここにリポジトリを作成」を選択します。



TortoiseSVN の使い方 (設置編)

② 作業ディレクトリの作成

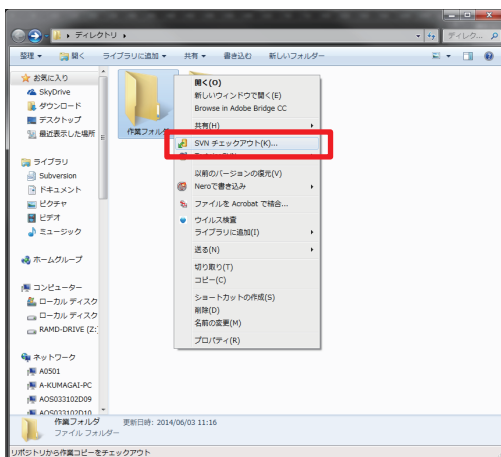


1. 実際に作業するディレクトリを新規作成します。ここでは、ディレクトリ名を「作業フォルダ」と設定します。

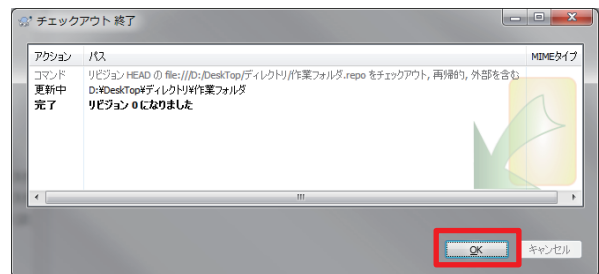
※ディレクトリ名は任意ですが、IT 戦略室では作業ディレクトリ名をリポジトリ名の「.repo」を除いた部分で設定します。

③ 作業ディレクトリとリポジトリを紐付け

2. 次にリポジトリと作業フォルダを紐付けします。「作業フォルダ」を右クリック⇒「SVN チェックアウト」を選択します。

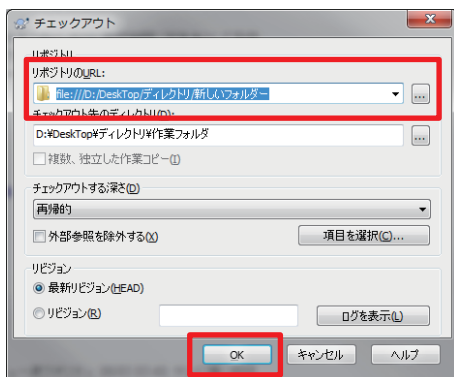


4. 「チェックアウト終了」というポップアップが表示されるので、赤文字等のエラーがないかを確認してから [OK] を押して紐付け完了です。



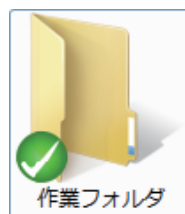
3. 「チェックアウト」というポップアップが表示るので「リポジトリの URL:」を①で設定したリポジトリの URL を設定します。

プルダウンの横 [...] ボタンを押して設定しますが、フォルダ階層がうまく表示されない場合は初期値の URL を削除した後に [...] ボタンを押して下さい。設定が終わったら [OK] を押します。



5. 最後に確認を行います。作業フォルダの中身を確認し「.svn」フォルダがあるか確認してください。

表示されていない場合は、隠しファイルの表示設定がされているかを確認してください。確認後、戻るとフォルダにアイコンが付いています。このアイコンがバージョンが保存されている印です。



TortoiseSVN の使い方（活用編）

SVN は、作業ディレクトリの更新情報をリポジトリが保存しています。この保存は自動では行いません。更新完了後に編集者が任意で保存を行います。また、保存時にはメモを残す機能があるのでこれにより第三者が更新内容を把握することができます。

SVN 活用方法

①更新履歴の保存

ファイルの変更または追加を行ったらその履歴を保存します。

②ログの確認

今まで保存した更新履歴を確認します。

③バージョンを戻す

保存してある更新履歴にデータをもどします。

④差分を確認

前バージョンとの違いを確認します。

⑤ファイルの削除

ファイルの削除を行います。

⑥ファイル名の変更

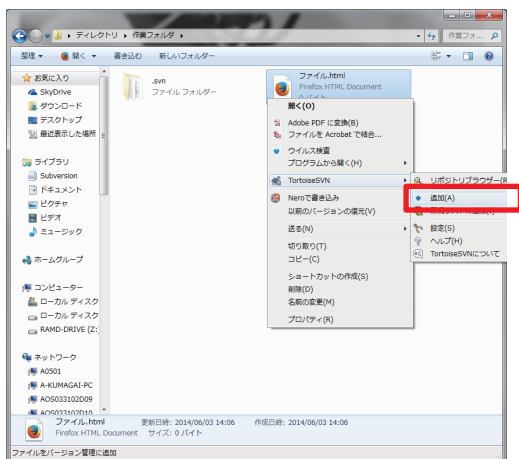
ファイル名の変更を行います。

⑦ファイルを移動

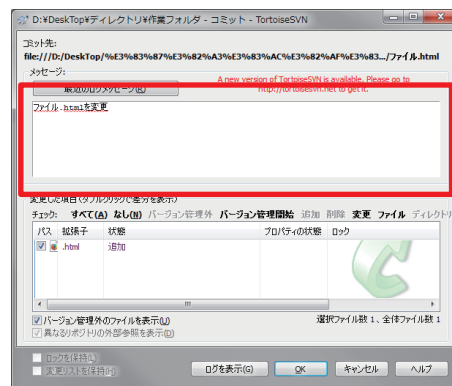
ファイル名の移動を行います。

① 更新履歴の保存

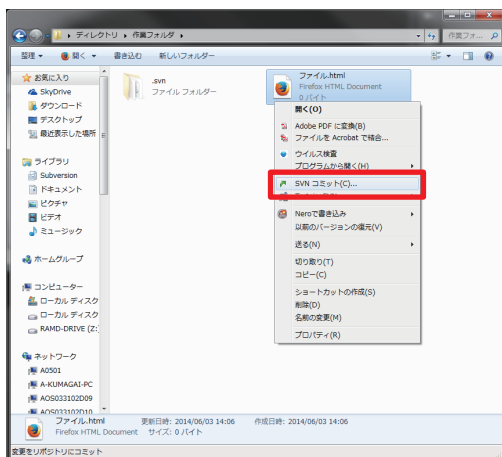
1. ファイルを新しく追加した場合は、そのファイルを右クリック⇒[TortoiseSVN]⇒[追加]を選択します。すでにこの作業がなされている場合は飛ばします。



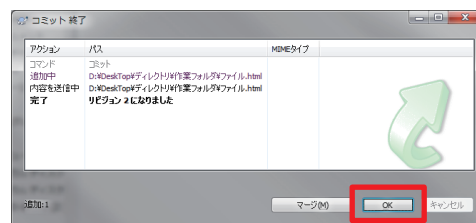
3. 「コミット」というポップアップが表示るので上部テキストエリアに更新した内容を記載します。ここは空白でもコミットできますが、**面倒でも記入**するようにしてください。



2. ファイルの更新履歴を保存することを「コミット」と呼びます。コミットするにはファイルを右クリック⇒[SVN コミット]を選択します。



4. 「コミット終了」というポップアップが表示るのでエラー表示がないことを確認して [OK] を押して下さい。



ポイント

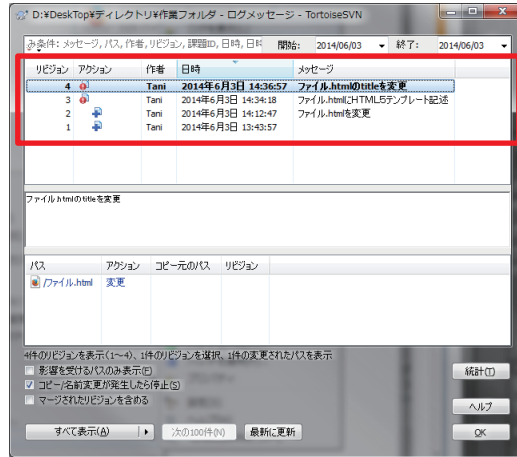
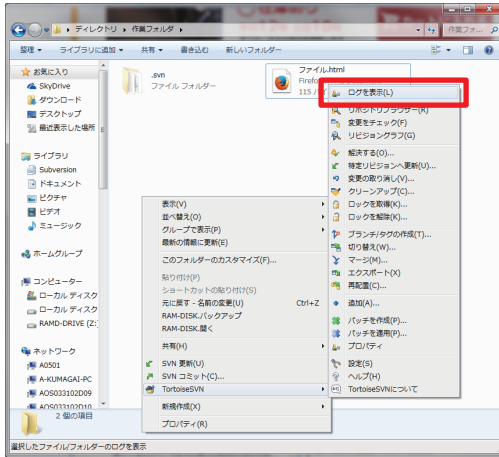
最低でも自分の更新作業が終わったら必ずコミットする癖を付けましょう。ファイル全体一括置換をする場合なども事前のコミットを忘れずに！ファイルを複数指定してコミットすることもできます。何もないところで右クリックしてコミットすると全ファイルコミットできます。ただし、分かりにくくなるのでその際は説明文にしっかり記載しましょう。

TortoiseSVN の使い方 (活用編)

② ログの確認

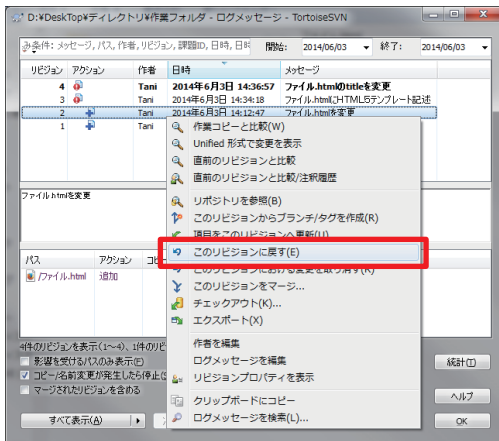
1. ログを見ることで更新履歴を確認することができます。

作業ディレクトリの何も無いところで右クリック⇒[TortoiseSVN]⇒[ログを表示] を選択してください。

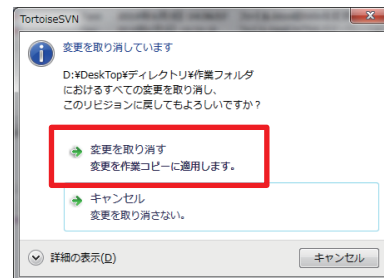


③ バージョンを戻す

1. ログを表示し戻したいバージョンを選択し
右クリック⇒[このリビジョンに戻す] を選択。



4. 「TortoiseSVN」というポップアップが表示されるので、
[変更を取り消す 変更を作業コピーに適用します。] を選択すると、選択したバージョンに戻すことができます。



ポイント

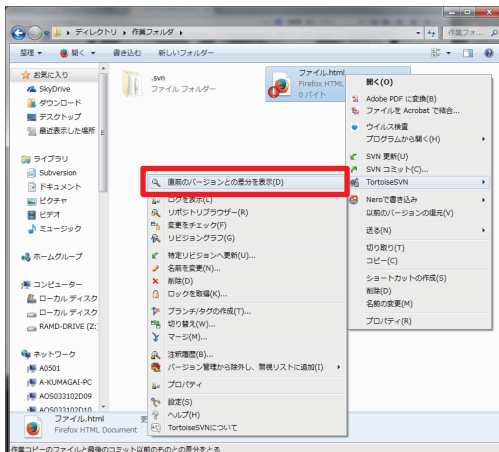
例えば [今日] [昨日] [一昨日] という履歴があり、一昨日のデータに戻したけどやっぱり昨日のデータにしたいとなったら、一昨日のデータを一度コミットしたあとに、昨日のデータに戻す必要があります。

④ 差分を確認

3. 前バージョンとのデータの差分を確認できます。

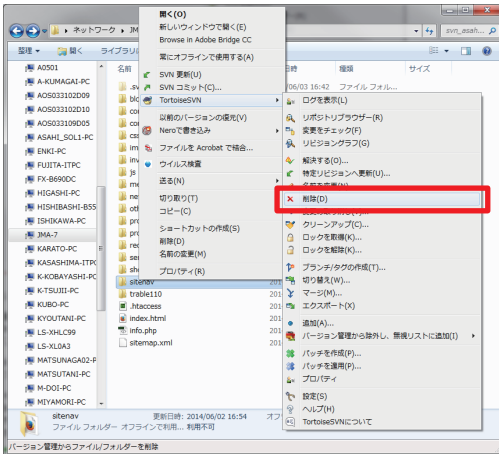
ただしバイナリデータのみ。ファイルを選んで右クリック⇒

[TortoiseSVN]⇒[直前のバージョンとの差分を表示] を選択します。



TortoiseSVN の使い方 (活用編)

⑤ ファイルの削除

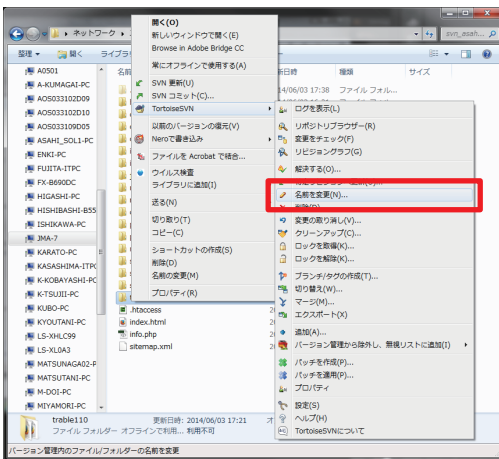


1. [Delete] キーでの削除など**一般的削除を行ってはダメです!**
必ずファイルを選択⇒[TortoiseSVN]⇒[削除]を選択し削除してください。
2. 削除選択後にコミット、削除履歴を保存します。

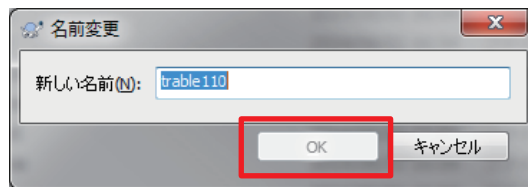
ポイント

間違っても親ファイルを選択選択し右クリック⇒[TortoiseSVN]⇒[変更の取り消し]で変更内容にチェックを入れ、[OK]を押せば復元できます。ちなみに[Delete]で削除してしまうと、リポジトリがファイルが削除されたことが分からないため「紛失」状態となります。紛失状態も同じく戻すことができます。(右クリック⇒[SVN 更新]) ただし、SVN 更新を行うと過去に紛失したファイルも全て復元してしまうので脆弱性の高まる危険があります。

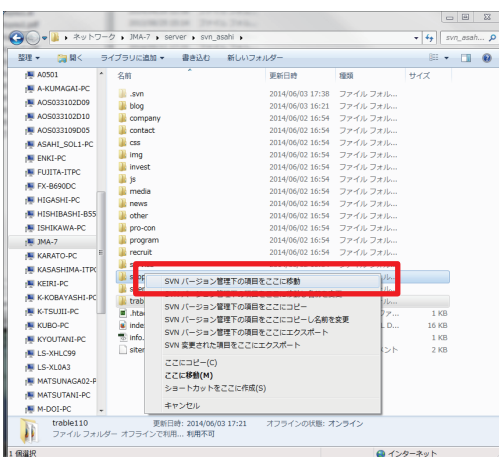
⑥ ファイル名の変更



1. 削除と同様で [F2] などファイル名を変更するとリポジトリが認識できないので必ずファイルを選択⇒[TortoiseSVN]⇒[名前を変更]を選択してください。
2. 名前変更画面がポップアップするので、新しい名前を入力後 [OK] ボタンを押してファイル名の変更が完了します。



⑦ ファイルを移動



1. こちらも同様で、普通に左クリックによるドラッグ&ドロップしてはダメです。**右クリックでドラッグ&ドロップ**します。
2. ドロップするとコンテキストメニューが開きますので、[SVNバージョン管理下の行為目をここに移動]を選択してください。

ポイント

ちなみにリポジトリブラウザを使うと削除やファイル移動など普通に行うことができます。そっちのほうが楽かもしれませんね!